

ネットビジネス準備マニュアル "So Long Yell" シリーズ

アドセンス広告編

アドセンス広告の運用マニュアル

著作権について

本冊子と表記は、著作権法で保護されている著作物です。 本冊子の著作権は、発行者にあります。 本冊子の使用に関しましては、以下の点にご注意ください。

■使用許諾契約書

本契約は、本冊子を入手した個人・法人(以下、甲と称す)と発行者(以下、乙と称す)との間で合意 した契約です。本冊子を甲が受け取り開封することにより、甲はこの契約に同意したことになり ます。

1.本契約の目的:

乙が著作権を有する本冊子に含まれる情報を、本契約に基づき甲が非独占的に使用する権利を承 諾するものです。

1.禁止事項:

本冊子に含まれる情報は、著作権法によって保護されています。甲は本冊子から得た情報を、乙の 書面による事前許可を得ずして出版・講演活動および電子メディアによる配信等により一般公開す ることを禁じます。特に当ファイルを無断で第三者に渡すことは厳しく禁じます。甲は、自らの事 業、所属する会社および関連組織においてのみ本冊子に含まれる情報を使用できるものとします。

1.損害賠償:

甲が本契約の第2条に違反し、乙に損害が生じた場合、甲は乙に対し、違約金が発生する場合が ございますのでご注意ください。

1.契約の解除:

甲が本契約に違反したと乙が判断した場合には、乙は使用許諾契約書を解除することができるものとします。

1.責任の範囲:

本冊子の情報の使用の一切の責任は甲にあり、この情報を使って損害が生じたとしても一切の責 任を負いません。 . . .

もくじ

.

もくじ
はじめに5
グーグルアドセンス広告とは7
アドセンス掲載までの大まかな流れ10
ルールに気をつけて記事を書こう12
著作権は侵害しない14
アダルトコンテンツや児童ポルノ16
ギャンブル・タバコ・アルコール17
ドラッグ・暴力・不正行為18
差別や極端な政治思想、一方的政治判断19
医療や薬に関するもの20
古くて過剰なSEO対策23
アドセンス広告審査に向けたブログの注意点24
スマートフォンとアドセンス広告25
追尾型ウィジェットやスライダーの利用禁止26
サイトのファーストビューについて28
運営者情報を書こう
グーグルアカウントを作ろう42
Site Kit で広告に申し込もう46
セットアップがまだの場合46
アドセンスに連携する50
1次審査に通らなかったときの対処法52
自己クリックには厳重に注意しよう55
アドセンスの許可サイトについて56

アドセンスはいくつ貼ってもいいの?	61
報酬受け取り口座の登録をしよう	63
PINカードについて知っておこう	70
終わりに	72

はじめに

このセクションでは、私たちにとって一番の収入源となる Googleアドセンス広告のアカウント取得方法を解説します。

このアドセンス広告という広告は、ブログに来てくれた読者さんが 広告をクリックするだけで報酬が発生することから 買ってもらわないと1円にもならないASPアフィリエイトリンクに比べ、 非常に報酬が発生しやすいのが特徴。

「クリックだけで報酬がもらえる」タイプの広告の中では、もっとも効率よ く稼ぐことが出来る最強の広告媒体と言っても過言ではありません。

ただ、デメリットもあります。

まず、<u>報酬単価が低い</u>こと。 広告主の出向入札単価にもよりますが、 1クリックあたり数円〜数十円程度が相場です。

そして、アドセンス広告を利用する際には、 かなり<u>厄介な審査</u>を受けなければいけないこと。

アドセンス広告の利用申し込み(アカウント開設)には、 少々厄介な審査があり、この審査は年々厳しくなっていく一方です。

特に、2016年8月に行われたルール改正以降、かなりきちんと作りこまれた サイトじゃないと審査に合格しなくなりました。

ちょっと前までは「適当な日記を10記事書けばOK」ってくらい お手軽だったのですが、**今は日記ブログではまず審査に通りません**。

しかも、厳しい審査を潜り抜けてようやくアカウントを取得しても、 ちょっとルール違反があると、すぐアカウント停止とか報酬の没収など、 厳しい処分が容赦なく行われてしまいます。

まぁ、1本売れたら万単位の報酬がもらえる情報商材に比べれば、 安いし面倒なグーグル広告なんてカスみたいだと軽視する人もいますが、 買わせるテクニックも広告管理も不要なグーグル広告はある意味最強です。

取扱のコツさえ理解すれば、アドセンス広告ほど心強い広告はないのです。

このマニュアルでは、その取扱の面倒なアドセンス広告を、 スムーズに取得するための注意点や申請方法を中心に解説します。

また、アドセンス広告の審査を受けるためには 絶対に独自ドメインが必要になりました。

サブディレクトリ形式やサブドメイン形式では審査そのものが受け付けられ ません。つまり、無料ブログでは審査を受けられませんから、 必ず、費用をかけてドメインとサーバーを契約しないといけません。

これはもう、最低限必要な経費です。

(ドメインが年間1000円程度、サーバーが月1000~1300円程度が目安)

このドメインやサーバーへの投資も、資産ブログの重要なポイントのひとつ で、長**く稼げるサイトを作るならどのみち必要な投資**です。

ドメインやサーバーの手続き、ワードプレスの運用などは、 別冊のワードプレスマニュアルを参考にしてください。

グーグルアドセンス広告とは

Google Adsence(アドセンス広告)について少し解説しておきましょう。

例えばよそのブログやサイトなどでこんな広告を見たことがありませんか?

Posted by moririn

ここに記事本文ここに記事本文ここに記事本文 ここに記事本文ここに記事本文ここに記事本文 ここに記事本文ここに記事本文ここに記事本文 ここに記事本文ここに記事本文ここに記事本文 ここに記事本文ここに記事本文ここに記事本文 ここに記事本文ここに記事本文ここに記事本文



サイズや形状には様々な種類があるのですが ここに載っている広告も、アドセンス広告です。

アドセンス広告は、お金を払うから広告を載せてほしい企業側と、 お金がもらえるなら是非広告を掲載したいサイトオーナー(あなた)側を仲 介する、グーグルが運営している広告媒体です。



広告費は、広告がクリックされるごとに発生します。

グーグルに広告を載せたい企業は、

「うちの広告が1回クリックされるごとに〇円支払います」みたいに、 クリックごとに広告料を負担しているのです。(PPC広告ともいいます)

もしクリックされたのが、あなたのサイトに貼ったあなたの広告だったら、 企業が払う広告料の一部が、あなたの報酬になるという図式。

企業にしてみれば、クリックされた分だけ広告費を払えばいいので無駄がな く、私たちだってたくさんクリックされた人がたくさんお金をもらえるので 公平です。

この広告システムは非常に優秀で、ひとたび広告欄をブログに作っておけ ば、あとは**グーグルが自動的に、様々な広告を自動配信**してくれます。

記事の内容を自動で検知して、合いそうな広告を表示してくれたり、

普段よく見るサイトの傾向から広告を選んでくれるんです。

例えば、あなたが水に関する記事を書いたとします。 すると、アドセンス広告はあなたの記事を自動的に判断し、 「浄水器」「ミネラルウォーター」「天然水の宅配サービス」など、水に関 係がありそうな広告を自動で配信してくれます。(コンテンツマッチ)

他にも、最近ダイエットや美容のサイトをよく見ているなと判断すれば、 エステや化粧品などの広告を配信するような機能もあります。 (インタレストマッチといいますが、詳しくはまた別途解説します)

この仕組みを利用するためのアカウントの開設方法をこれからこのマニュアルで解説していきます。

アドセンス掲載までの大まかな流れ

実は少し前までは、アドセンスといえばこんな感じで審査が続く、 なかなか厄介な手続きが必要でした。



ところが現在は、正直ブログさえきちんと用意しているのであれば、 あとはGoogleが提供するプラグインをポチッとやるだけで 広告への申し込み、審査、運用などの何もかもを、すべてGoogleが 自動で行うようになっています。

もちろん、今までのように手動でやることもできるのですが、Googleは広告 運用にも口うるさく、気に入らないとすぐにアカウント停止などをやってく るので、最初から「だったらどうぞお好きに」と任せた方がラクで確実。

そこまで面倒な手続きを要しなくなってきていますし、 その都度、細やかに案内がありますのでそれに従って下さい。

ただし2016年8月に、かなり大掛かりなアドセンス広告のルール変更があ り、新たにアドセンス広告を申し込む時の審査が非常に厳しくなりました。

それまで「**適当な日記**でも書いた**無料ブログ**を作ってさっさと審査を申し込 む」というスタイルで十分OKだったのに、

「しっかり作りこんだ記事が30記事は書いてあるブログ」 じゃないと、審査を受けられなくなったのです。

しかも、今までは無料ブログでも審査を受けることができたのに、 今後は無料ブログでは申込みすら出来なくなりました。

10ページ

(海外では数年前からすでに多くの国でこのルールが適用されています)

アドセンスのアカウントは1人にひとつと決められており、 そう簡単にホイホイ作り直すことはできません。

これからアドセンス掲載のルールを解説していきますので、 じっくり読んで、一発合格を目指しましょう。 ルールに気をつけて記事を書こう

アドセンス広告審査を受けるためには、

とにもかくにも審査に出すためのブログが必要です。

まずは、アクセストラップの各マニュアルや本編サイトをよく読みながら、 ワードプレスのブログを作成し、キーワード選定を行いながら、 お役立ち記事を30記事書いていきます。

30記事はなかなか大変なボリュームですが、頑張りましょう!



2016年8月にアドセンス広告の審査基準が大幅に改定され、人の役に立つような記事がたっぷり書かれていないと審査に通らなくなりました。

 $\mathcal{k}?$

「人の役に立つ記事」を「たっぷり」って、 アクセストラップが目指すブログ作りそのまま、ですよね!

ですから、基本的にはアクセス・トラップのノウハウどおりに ユニークな記事を書いていけばOKなのですが、うっかり書いてしまうと取り 返しがつかないネタやNGワードがあるのでここでまとめておきます。

これらのNGワードやNGネタは、審査のためにNGなのではなく、 **アドセンス広告を運用するならずっとNG**なものですから、 「今だけ」ではなく、ずっと扱わないように注意してください。 ちなみに、グーグルはアドセンス広告審査の基準を明確にしていません。 おおまかな指針はありますけど「ここまではギリギリセーフ」みたいな、 分かりやすいボーダーラインを示してくれません。

それに当たり外れも大きく、必ずしも公平ではないし、 同じ問題点でも、グーグルの気分次第でOKにもNGにもなります。

受かる人は少々違反をしていてもあっさり受かるし、 言いがかりじゃないかと思うほど細かい文句ばかり言われる人もいて、 理不尽だと思うこともしばしばです(苦笑)

特に、審査中は厳しいチェックが入りますので、 審査に出す前に、NG項目が含まれていないかを十分確認しましょう。

アドセンス広告のアカウントは一人にひとつ。 住所、氏名、IPアドレスや口座番号などで個人を特定し、 いくつもアカウントを持てないようにしてきます。

ですから、審査に通らなかった場合、再審査は非常にハードルが高く、 何度も受けなおしたり別のアカウントで申し込んだりができません。

スムーズに審査を切り抜けるためにも、 くれぐれも、申込みは慎重に行いましょう。

では、気をつけるべきNGワードやNGネタを一気に見ていきます。

著作権は侵害しない

アドセンス広告の審査だけじゃなく、検索エンジン対策としても、 すごく重要なのが著作権の問題。

記事を書く際に、どうしても、よそのサイトの記事を 参考にさせてもらうことがあるでしょう。

けれども、世の中には著作権というものがあり、 お役立ち情報だろうが個人の日記ブログだろうが、 自分が書いたわけじゃない文章などを勝手に使うことは許されません。

あたかも自分が書いたかのようにまるまるコピペしてみたり、ちょこっと文 章の語尾だけ変えてごまかしてみたりする行為は違法行為ですし、どのみち グーグルの検索ロボットは誤魔化せません。

ものすごい性能のロボットが一気に調べ上げて、ひとたび「盗用」と認定さ れてしまうと、アドセンス広告審査どころか検索エンジンからも締め出され てしまいますので、絶対によその文章を勝手に使ってはいけません。

と言うと、

じゃぁ自分の書いた他のブログの記事はいいのか、 パソコンのメモ帳に書いた記事の下書きをコピペするのはダメなのか、 コピペじゃなくって手で1文字1文字入力すればOKなのか、

などと質問されますが、

要するに、ブログだろうが製本だろうが<mark>すでに世に発表された文章は、</mark> 他人だろうが自分だろうが<mark>誰が書いたものでもNG</mark>です。

同様に、著作権で気をつけないといけないのが画像。

絶対に、よそのサイトの画像を勝手に流用してはいけないし、

ましてや芸能人の写真などを使えば、相手方の利益を横取りしたとして

賠償請求されても文句は言えません。

使ってもいいのは、携帯などで**あなた自身が撮った写真**や、 「自由に使っていいですよ」と素材を配布しているサイトの素材。

例えばこういうサイト。 https://www.ac-illust.com/

こういう、画像素材配布サイトは探せばたくさんありますので、 上手に活用してください。

アダルトコンテンツや児童ポルノ

アドセンス広告を掲載するサイトでは、アダルトコンテンツ、またはアダルトに準ずるコンテンツを扱うことは出来ません。

これは、単にエッチな話がダメよ、というだけじゃなく、 学術的、医学的、芸術的なものまで含みますから、

「不妊治療」とかでもペナルティを受ける可能性があります。

どんなに真面目で有益な情報だとしても、 セックスを扱う以上、アダルトコンテンツに該当するということです。

また、記事の内容だけじゃなく、使う画像にも十分注意してください。 特に、幼くみえる女性の水着姿のイラストなどは非常に危険です。

グーグルは、例え作品の設定上18歳以上であっても、 見た目が18歳以下に見えるのであれば児童ポルノとみなします。 そして、児童ポルノにはかなり厳しいペナルティを課します。

ただ、当然、子供の水着姿なら全部がダメというわけではなく、 健全なイラストは使ってもかまいません。

じゃぁ、何が健全でどこからがアダルトになるのかというと、 実はハッキリした基準がありません。

「子供と一緒に読めるか」「会社の上司と一緒に読めるか」といった、 非常にあいまいな基準で判断されてしまいます。

要するに、グーグルの担当者の気分次第でNGを食らいかねないので、 スキを見せないためにも、少し神経質に考えておきましょう。

ギャンブル・タバコ・アルコール

ギャンブルやタバコ、アルコールも注意すべきNGネタです。

しかもこれらは「アレはいいけどこれはダメ」みたいに、 ルールがかなり複雑ですので注意が必要です。

例えばギャンブルに関しては、国によって扱える内容が違います。 ギャンブルに寛容な国と、そうでない国では扱えるネタに差が出るのです。

日本では、公営ギャンブルのみ扱うことが出来ます。 例えば、パチンコや競馬などはOKですけど、 賭けマージャンやオンラインカジノなどはNG。

タバコは、喫煙を助長する内容はNGですけど、 タバコの害や禁煙の方法を扱うものはOK。

また、タバコやタバコ関連グッズをアフィリエイトすることは出来ません。 灰皿もNGですので気をつけましょう。

同様に、アルコールも扱える種類や内容に制限があります。

記事に書くだけならどんなお酒でも扱ってOKですけど、 アフィリエイトリンクを貼るならワインはいいけどビールはダメ、 といった制限があります。(ノンアルコールビールもダメです)

個別具体的な種類はアドセンス広告の公式ポリシーで確認してください。 <u>https://support.google.com/adsense/answer/1348688#Healthcare-</u> <u>related_content</u>

まぁ、審査を受けなきゃいけない今の段階で、 リスクを冒してまで境界ギリギリを行く必要もないですし、 この手の「NGネタ」はスパッと避けた方が無難ですけどね。

ドラッグ・暴力・不正行為

違法行為を助長する記事にはアドセンス広告を貼れません。 例えば、麻薬(危険ドラッグのような脱法ドラッグも含む)や暴力、 ハッキングなどのサイバー攻撃、武器や爆弾の作り方などです。

過去、実際に相談を受けた事例として、バブル期にヤーヤー言ってた某アー ティストが麻薬取締法違反で逮捕されたというニュース記事をブログに書い たら、数日後にブログごと検索エンジンから削除されたことがありました。 (検索エンジン削除はかなり重いペナルティに相当します)

この手の芸能人の麻薬取締法違反のニュースはわりと頻繁に出てくるので、 ついつい軽く考えがちですが、絶対に扱わないように気をつけましょう。

また、旧基準時代の話ではありますが、某国民的美少女戦士アニメの話を記 事にしたら「暴力的コンテンツ」「児童ポルノ」と指摘を受けてしまった事 例もあります。

(戦闘シーンと変身シーンが引っかかったと考えられます)

それからグーグルの基準では、骨折級の怪我をしそうな場面を含む動画と か、車に轢かれる動画みたいに(肉体的に)**痛い動画へのアドセンス広告掲** 載は禁止です。

youtubeを掲載する時には注意しましょう。

また、そんなつもりはさらさらなくても、 爆発物とみなされますので花火のアフィリエイトリンクは掲載できません。

"花火大会、楽しみですね~。その前に線香花火で楽しみましょ♪ →線香花火のアフィリリンク"これが実はアウト!

花火や花火大会はよく扱われる人気ネタのひとつですから、つい忘れてしまってうっかり載せることがないように十分注意しましょう。

差別や極端な政治思想、一方的政治判断

当たり前ですけど、例えば人種、国籍、宗教、性的マイノリティなど、 差別を助長する記事は禁止です。

また、**不公平なものの見方で一方的な意見を読者に押し付けるような記事** は、ペナルティの対象になりますので十分に注意してください。

実は、この一方的な意見によるペナルティは結構よくあります。

例えば、集団的自衛権や1票の格差問題、消費税率、天皇制など、 国を二分して「賛成」や「反対」の意見が割れていたり、政治判断の途中に あるような議題について、自分の意見だけを書くのはNG。

- × 集団的自衛権は行使すべきだ。大賛成。 国際社会の一員として果たすべき義務である。
- × 集団的自衛権の行使には**断固反対**する。 憲法9条に明確に違反する。
- 集団的自衛権とは、こういうものである。
 賛成の人はこういう意見を言い、反対の人はこういう意見を言う。

このように「賛成」でもなく、「反対」でもなく、 「集団的自衛権とはこういうものだ」という解説記事や、 **賛成と反対を平等に扱っている記事ならまったく問題ありません**。

- (むしろ、関心の高さから結構なアクセスを集めていました)

医療や薬に関するもの

政治問題同様に、公平中立が求められるのが医療に関する記事ネタです。

また、医療ネタは専門性が大事になってくること、医薬品の基準がアメリカ の薬事法にあることなど、重要な注意点があります。

まずは、医療を扱う際にはメリット同様にリスクを扱うことが大事です。

例えば「がん検診を受けましょう」みたいに、 誰が見てもYes以外に答えがないものならいいんですけどね。 (公平も中立もへったくれもなく、検診は受けなきゃダメですよね)

例えばレーシックや脂肪吸引みたいな手術。

別に手術しなくても生きていけるけど手術をすれば快適ライフが待ってい る、みたいなケースでは、手術のメリットだけじゃなく、感染症をなど危険 を伴うケースもある、といった**デメリットも明記**しなくてはいけません。

単に「レーシックいいよ!便利だよ!」というだけじゃダメってこと。

それから、素人が聞きかじりの知識だけで、 あたかも専門家のようにあることないこと書き散らかすのもNGです。

極端な話「トマトを食べればガンが治る」(←今考えたウソです) みたいな怪しい情報を、それっぽく記事にしたのを読んだ人が話を信じて正 しい治療を受けずに亡くなったとしたら責任取れますか?って話。

現在、Googleは生命や財産に直結するテーマを記事にする場合、 専門の資格を持ったスペシャリストが執筆や監修をするべきだと考えてお り、専門知識を持たない人が書く記事を評価しないと公言しています。

つまり、医療ネタや薬事ネタなどは医師や看護師、薬剤師など、

アドセンス運用編改訂版

専門知識を持つ人以外、実質は扱えないということ。

専門性の高い医療ネタは、非常に高く評価される傾向にある一方で、 医学的に根拠のない医療ネタやウソ、半端な情報などは 厳しく評価され、ペナルティを受けやすいので特に注意しましょう。

また、例え日本の日本人による日本人のための記事であっても、アドセンス 広告を貼る以上、基準がアメリカの薬事法になるという点にも注意。

医薬品を記事ネタにしたり、市販薬ならアフィリリンクもOKですが、 日本に暮らす人なら誰でも知っているCMでも有名な市販薬でも、アメリカ で認可されていない成分が含まれているなら扱うことができません。

つまり、薬を扱うならアメリカと日本の両国の薬事法に詳しくないといけない、実質、よほどの専門家じゃないと扱えないってことです。

多すぎる広告や不適切な広告 アドセンス広告の公式なルールでは、広告についてこう言っています。

広告や有料の宣伝用資料は、配信するページのコンテンツよりも多くなってはならないものとします。 また、コンテンツは、ページを訪れるユーザーの関心に合った、価値ある情報を提供するものでなけ ればなりません。そのため、ユーザーにとって価値がほとんどないページでの広告配信と広告の過度な 表示は、修正が行われるまで制限または無効にされる場合があります。 (アドセンス広告ポリシーより引用 <u>https://support.google.com/adsense/answer/</u> 1346295?hl=ja&ref_topic=1271508&visit_id=undefined&rd=1#Ad_limit_per_page 2016.11)

ちょっと意地悪く翻訳してみると、

記事より広告が多かったらダメ。記事に関係のない広告を貼ったらダメ。 つまらない記事やしょうもない記事に広告を貼ってはダメ。 ちゃんと直すまでアカウント停止にするか、剥奪しますよ、ってこと。 (記事がつまらないかどうかはグーグルが決めます)

詳しい解説はおいおい加えていきますが、

今、この段階で注意して欲しいのは、ASPアフィリリンクです。

「記事より広告が多いのはダメ」「記事に関係のない広告はダメ」の 2点に引っかからないようにするために何に気をつけるのか、という話。

アドセンス広告がまだ使えないなら、ASPアフィリリンクで稼ぐしかないで すよね。だからって、広告をベタベタと貼りまくれば、アドセンス広告の審 査に受かりません。

楽天などのアフィリエイトリンクはどんなに多くても1記事に1個まで。 サイドバーにはASPアフィリリンクを貼らないようにしてください。

また、広告の内容も気をつけてください。 キャンプの記事なのに事務用品の広告を貼るような、 記事に関係のない広告はダメですよとアドセンス広告も言っています。

中でも、amazonの「モーションウィジェット」など、広告が勝手にくるく る回ったり、中身が自動でカスタマイズされたりするような 便利な広告も、**絶対に使わない**でください。

中身が自動で配信される広告の中には、 成人向けのエッチな本が勝手に配信されていたケースがありました。

それからアドセンス広告は、**情報商材や無料オファーを嫌い**ます。インフォ トップなどの情報商材はどんなにおススメでも扱わないようにしましょう。

古くて過剰なSEO対策

SEOとは、検索エンジン対策のことです。

詳しくはSEOマニュアルに譲りますが、 ひと昔前に良かれと思って施したSEO対策が今となってはペナルティ対象、 なんてことが、ここ数年、本当に多々ありました。

無料ブログをたくさん作ればいい、 記事にはものすごい数のタグをつけた方がいい、 キーワードは連呼するほど良い、

みたいなことを、数年前まで本当に良いといわれてやっていたのですが、 今やってしまうとあっという間にペナルティで抹殺されます。

随分落ち着いてはきましたが、今となってはやってはいけないSEO対策を解 説した、古いマニュアルや解説サイトは今なおネットに転がっています。

過剰なタグ付けや被リンク対策など、いわゆるブラックハットSEOは、 絶対に行わないでください。

SEOマニュアルにも書きましたが、 いい記事を書く以外にSEOなんてありません。

アドセンス広告審査に向けたブログの注意点

私たちが使うワードプレスというブログは、 非常に自由度が高く、多種多様なカスタマイズが可能です。

シンプルな個人の日記風サイトはもちろんのこと、企業のオフィシャルサイ トのようなスタイリッシュなデザインや、自動で動く、勝手に表示してくれ る、などの便利機能も簡単に出来ちゃいます。

ところが、アドセンス広告では、

「記事や広告がこういう風に見えていないといけない」 「こういう機能で読者さんを無理に誘導してはいけない」 みたいな細かいルールがあり、注意が必要です。

特に、「スマートフォン対策」「追尾ウィジェットやスライダーの禁止」 「ブログのファーストビュー」に関しては、**非常に重要です**。

本教材では、基本的に広告の配置は全てGoogleに任せますので、自分で「こ の位置に広告を掲載させる」という作業を行うことはありません。

けれど、私たちが基礎知識として知っておかないといけないことでもあり、 もしも手動で広告を貼る必要が出た時には注意しないといけないことでもあ るので、しっかり読んでおいて下さいね。

スマートフォンとアドセンス広告

近年、爆発的に普及したスマートフォン。

本教材の実践テストでもスマホからのアクセスが全アクセスの7割以上という 実践者さんが珍しくなくなり、スマホ対策は必須となってきています。

このスマートフォンの普及により、今まさに、アドセンス広告を取り巻く環 境が大きく変化しようとしています。

特に、後で解説するファーストビューなど、スマホ対策をしないままアドセンス広告を運用することで知らず知らずのうちにペナルティを受けるケースも増えており、注意が必要です。

アドセンス広告のスマホ対策は、例え、ブログがスマホに対応していなくて も、スマホからのアクセスがあろうが無かろうが、 <mark>アドセンス広告を貼っている以上、必ず必要になる措置</mark>です。

ワードプレスブログの場合、スマホ対策済みテンプレートやプラグインを使 えば、自動的に、PCならPC用に、スマホならスマホ用に、画面を切り替え てくれます。

ですから、いちいち「これはパソコン用」「こっちはスマホ用」みたいに、 何か対策をする必要はありませんが、

だからこそ、つい無頓着になりがちなアドセンス広告のスマホ対策。

本書では、ここ最近、標準化されてきているスマホ対策を施した最新のアド センス広告運用について解説していきますが、あなた自身も規約の変更など に注視し、新しいアナウンスに従うようにしてください。

追尾型ウィジェットやスライダーの利用禁止

ここ最近、ワードプレスのテンプレートがどんどん進化してきて、 様々な機能を持つものが増えてきました。

教材などの購入特典として、アフィリエイターなどから配布され、 広く普及しつつあるワードプレステンプレートの中には、知らずにアドセン ス広告に使えばペナルティを受けかねない機能を持つものもあります。

特に注意すべきは追尾型ウィジェットです。

追尾型ウィジェットとは、サイドバーなどで、 スクロールしてもずっとついてくるタイプのものです。



どんなに下までスクロールしてもくっついてくるサイドバー

この、どんなに下までスクロールしてもついてくる、 追尾型のサイドバーに、アドセンス広告を表示させると、<u>強引にクリックを</u> 誘発する行為としてペナルティを受けますので使用しないでください。

ただし、アドセンス広告以外のもので追尾型を使うことは問題ないです。 例えば、人気記事一覧などが、ずっとついてくる構成なのはOK。 **アドセンス広告がずっとついてくる状態にならなければOK**です。

また、「最新記事」や「おススメ記事」などを、

カシャンカシャンと自動で切り替えながら表示してくれる、 スライダーという機能がついたテンプレートも増えてきました。

ところが、以前、このスライダーが「読者を強引に誘導している」とみなさ れたのかなぁと思われるペナルティを受けた事例がありました。

はっきりと「スライダーがダメ」という規定はないのですが、 過去に事例がありますので、スライダーの使用は避けた方がいいでしょう。

このように、

「どこまで行ってもついてくる」

「勝手にブワッと表示される」

「自動でカシャンカシャンと切り替わりながら表示される」 みたいに、**動きのある機能は使わない**でおきましょう。

味気ないくらいあっさりしたテンプレートの方がいいです。

サイトのファーストビューについて

特にここ最近、厳しく言われているのが、 サイトのファーストビュー(最初に見える範囲)です。

ファーストビューとは、

サイトが画面にパッと立ち上がったときに見える範囲のこと。



通常、webサイトは縦に長く出来ており、サイトが表示されたときに見える 範囲は上の方の一部だけですよね。

それより下の部分は、記事を読み進めながら スクロールして表示させていきます。

この、最初にサイトが立ち上がったときに見える範囲(赤枠で表示)のこと をファーストビューといいます。 アドセンス広告では、このファーストビューで、コンテンツ、つまり、記事 本文が表示されていないといけない、という決まりがあります。

大きすぎる広告のせいや、サイトのデザインのせいで、 ファーストビューで記事本文が見えない状態は規約違反なのです。

ファーストビューで規約違反になる例を詳しく見ておきましょう。



大きく分類すると、上のように3つのNGタイプが考えられます。



まずは、広告が大きすぎて記事本文が隠れ、 スクロールしないと記事本文が読めないケース。

特に、ここに設置する広告はクリック率が高くて ここに大きな広告を貼れば、その分、収益も見込めるのですが、

広告を貼ることで記事本文が見えなくなるのであれば、 故意にクリックを誘う、クリックしないと本文を読めない誘導、のように、 意図的に広告で読者の邪魔をしていると判断されかねません。

中でも、レクタングル(大)広告はすごくよく目立つし収益性も高い反面、 どんなワードプレステンプレートを使おうとも、 ほぼ、ファーストビューで記事本文を隠すため、記事上には使えません。



←このサイズがレクタングル

(大)

特にこんな大きな広告はスマホ表示でほぼ引っかかりますから注意。

そう。今のアドセンス広告はスマホからどう見えるかも非常に重要で、 アクセスがあるかないかに関わらず、スマホでサイトを見たときに、 ファーストビューで記事本文が見えないと、規約違反になってしまいます。 上図のようなレクタングル(大)というサイズの広告は、 一番目立つ、ファーストビューに表示させるのはやめた方がいいです。

記事の上、つまり、ファーストビューで表示される範囲に アドセンス広告を貼るのであれば、自動タイプ、もしくはモバイルバナー、 同じくらい細いハーフバナーにしておきましょう。(詳しくは後述)



次に、**ヘッダーが大きすぎる**デザインのため、 記事本文が隠れてしまうケース。

特に多いのが、ヘッダーにお手製の画像を埋め込むことでヘッダーが大きく なりすぎ、記事本文の表示スペースを圧迫する場合です。

これは、ヘッダーが大きすぎるから広告が下に追いやられ、 結果として記事本文が見えないからダメ、というわけではなく、

記事上に広告を貼ろうが貼るまいが、ヘッダーが大きすぎて記事本文が読め ないのがNGですので注意です。 広告を貼ろうが貼るまいが記事が読めないほど大きなヘッダーは規約違反

いずれにせよ、大きなヘッダーは読者の視線をムダに集めてしまい、 記事に集中できない、広告が目立たずクリック率が下がる、など、弊害の方 が大きいですので、わざわざ目立つヘッダー画像を作るくらいなら、 何もせずにシンプルなままにした方が収益が高くなる傾向があります。



それから、昨今のワードプレステンプレートには、左図のように、ヘッダー のすぐ下に、大きなイメージ画像が設置してあり、設定上CSSを加工しない と外せないものも出回っています。

この大きなイメージ画像のせいで記事本文が隠れてしまうと規約違反ですので設定ですぐに外せない場合は使用を避けたほうがいいでしょう。



このように、広告を貼っても記事本文がちゃんと見えるように、 注意して設置してください。(記事本文がどこにあるかひと目で分かる)

なお、記事本文は1行でも見えていればOKかというとそうでもなく、広告が 記事3行分くらい幅を取っているなら記事本文も3行程度見える、など、広告 と同じくらいの分量が見えるように調整すれば、ほぼ大丈夫でしょう。

そして、大きすぎる広告の部分でも書きましたが、このファーストビューは PCだけでなく、スマホでどう見えるかも重要です。 PCではOKでもスマホでNGであれば、スマホからのアクセスがゼロであって も規約違反ですからスマホ表示は必ずチェックしましょう。

サイトのレスポンシブwebデザイン (PCとスマホに自動的に対応するデザイン) やその確認方法などは、別途詳しく取り上げます。

ここでは、「ファーストビューに注意しなければいけない」ことをよく頭に入れておいてください。

運営者情報を書こう

ブログの記事が30記事を超えたら、いよいよ審査に出すために 忘れないように加えないといけないページがあります。 それが「運営者情報」です。

アドセンス広告では、広告を掲載するサイトのすべてに、

- このサイトの所有者は誰か
- このサイトの所有者の連絡先
- グーグルの要件を満たすプライバシーポリシー

この3点を漏れなく記載しておく必要があります。 もし、この運営者情報が書かれていなければ、

アドセンス広告のアカウントを剥奪されても仕方がありません。

今のあなたは、まだこれから審査を受けるので アドセンス広告を掲載しているわけではありませんが 運営者情報が記載されていなければ、審査にはまず通りませんから 必ず、審査に出す前までに運営者情報を記載しておいてください。

では、その内容や書き方を見ていきましょう。

まずひとつ目は、サイト運営者(あなた)の名前です。 ただし、サイトに記載する名前は、必ずしも本名でないとダメということは なく、ハンドルネーム(ニックネーム)でもかまいません。

そして2つ目が、サイト運営者(あなた)の連絡先です。 これも、あなたの現住所や電話番号といった、本物の個人情報である必要は なく、あなたに連絡できるメールアドレスであればそれでOKです。

基本的に、ちゃんと届くメールアドレスであればOKなのですが、アドセンス 広告審査の時には、申し込みをするアカウントのGmailアドレスの方が 無難で安心です。(Gmailの作り方は次のセクションで解説します) 最後に3つ目のプライバシーポリシー。

このプライバシーポリシーは、必ずこの文章を書かなければいけない、 というわけではなく、一定の要件を満たしていればOKですし、 プライバシーポリシーだけは、コピペ記事だろうが許されます。

ですので、この後にこのまま丸々コピーすれば使える例文を用意しましたか らその例文を使うと便利です。

で、少し解説しておくと、アドセンス広告では、 読者さん一人ひとりの嗜好にあわせた広告を配信してくれる *インタレストマッチ、*というシステムがあります。

例えば、普段、ダイエットや美肌効果などのサイトをよく見る人には エステや化粧品の広告を自動的に配信したり、

英会話や英文法など、英語にまつわるサイトをよく見る人には、 英会話スクールや通信教育などの広告を自動で配信したりするわけです。

なぜ、そんなことができるのかというと、 グーグルのロボットは、あなたがよく見るサイトの情報を あなたのパソコンに自動的に書き込んで記録しているからです。

え!?・・・ちょっと待って!勝手に記録されてるって??? 僕、アダルトサイトをよく見てしまっているんだけど、どどどどーしよ う!!と、ヒヤッとした方、いませんか? (笑)

グーグルのこのロボットが情報を集めて記録しているのは、 アドセンス広告配信サイトのデータだけに限られています。

アダルトサイトにはそもそもアドセンス広告を掲載できませんから アダルトサイトをよく見ている、という情報はロボットが記録できません。

- アドセンス広告が貼ってある「計るだけダイエット」のサイトを見ていた → 記録
- アドセンス広告が貼ってある「リンゴダイエット」のサイトを見ていた
 → 記録
 - 「この人はダイエット系のサイトをよく見ているから、 エステや美容に興味があるのだろう」 → エステの広告配信開始

など、その人が見た先のサイトにアドセンス広告が貼ってあるかどうかで判 断されます。

うわ~~>< それって、私の個人情報を 勝手に収集されているってことよね???

確かに「よく見るサイトの傾向」は個人情報にあたりますが、アドセンス広告が自動で集めているのは「よく見るサイトの傾向」だけであり、あなたの 住所や氏名、電話番号など、**個人を特定できる情報は一切含まれません**。

とはいえ、個人情報を集めていることに変わりはありませんから、 プライバシーポリシーの掲載が必須となっているのです。

ヤダ!!たとえ住所や電話番号とかじゃなくても、 何か気持ち悪いし、そういう情報を集めるのはやめてほしい!

もちろん、手続きをすれば、そういった情報を集めるのを ストップさせることが出来ます。

・・・という内容を、プライバシーポリシーとして掲載しておけばOKですが、 最初に言ったように、これだけはコピペでかまいませんから、 この例文をコピーしてそのまま使ってください。
運営者情報

運営者:あなたのハンドルネーム 連絡先: ~~★gmail.com (★を@に変えて送信してください) プライバシーポリシー 当ブログでは、第三者配信による広告サービスを利用し、ユーザー様が閲覧する他のサイト (Adsense 広告のあるサイト、YouTube)の状況に応じて、興味のある広告を配信しています。 そのため、当サイトや他サイトへのアクセスに関する情報(氏名、住所、メール アドレス、電話番号は 含まれません)を使用することがあります。 http://www.google.co.jp/policies/technologies/ads/ 当サイトや他サイトへのアクセスに関する情報(氏名、住所、メール アドレス、電話番号は含まれません)を使用されないようにする方法については、こちらをクリックし、設定変更をお願いします。 https://support.google.com/adsense/answer/113771?ref_topic=23402&rd=2 詳しくは、Adsense広告の、公式プライバシーポリシーをご覧ください。 http://www.google.com/intl/ja/privacy.html

では、実際に運営者情報、という専用ページを作成してみましょう。

今回は、グローバルメニューに表示させるケースも多いでしょうから 表示しやすいように、固定ページで作成してみます。

🝘 ダッシュボード	固定ページ ^{新規追加}
🖈 投稿	すべて (4) 公開済み (3) 下書き (1)
9: メディア	─括操作 ▼ 適用 すべての日付
∂ リンク	 タイトル
📙 固定ページ	サイトマップ
固定ページ一覧	
新規追加 タグ	サンプルページ

図のように、「固定ページ」→「新規追加」をクリックします。 「新規追加」は、どちらをクリックしてもかまいません。



図のように「運営者情報」と書き入れ、 記事本文部分に例文をコピーします。

運営者情報

運営者:あなたのハンドルネーム

連絡先:~~★gmail.com(★を@に変えて送信してください)

プライバシーポリシー

当ブログでは、第三者配信による広告サービスを利用し、ユーザー様が閲覧する他のサイト(Adsense 広告のあるサイト、YouTube)の状況に応じて、興味のある広告を配信しています。

そのため、当サイトや他サイトへのアクセスに関する情報 (氏名、住所、メール アドレス、電話番号は 含まれません) を使用することがあります。

http://www.google.co.jp/policies/technologies/ads/

当サイトや他サイトへのアクセスに関する情報 (氏名、住所、メール アドレス、電話番号は含まれません) を使用されないようにする方法については、こちらをクリックし、設定変更をお願いします。

https://support.google.com/adsense/answer/113771?ref_topic=23402&rd=2

詳しくは、Adsense広告の、公式プライバシーポリシーをご覧ください。

http://www.google.com/intl/ja/privacy.html

固定ページを編集新規追加		表示オプション 🔻	ヘルブ 🔻
運営者情報	公開		
パーマリンク: 短縮 URLを取得 の メディアを追加 b i link b-quote det ins img ul ol li code 🔀	 ↑ ステー ③ 公開材 ③ リビジ 	変更 タス:公開済み <u>編集</u> (態:公開 <u>編集</u> ョン:2 <u>表示</u>	をプレビュー
運営者: ####################################	前 公開日 ゴミ箱へ移]時: 2013年12月15日 動	@ 14:30 <u>編集</u> 更新

例文をコピーして、運営者(あなたのハンドルネーム)と 連絡先(あなたのメールアドレス)を書き換えたら、 「公開」もしくは「更新」をクリックしてください。

ブログのテーマによっては、グローバルメニューがある場合があります。



このようにメニューに表示させるには、 図のように、「外観」→「メニュー」とすすみます。

アドセンス運用編改訂版

🖚 ダッシュボード	メニューを編集 位置の管理	Vaン▼ へルプ▼	
★ 投稿			
9: メディア	以下のメニューを編集するか <u>新規メニューを作成</u> して	てください。	
@ リンク			
📕 固定ページ	固定ページ ▲	メニューの名前 グローバルメニュー	メニューを保存
9 axyt	最近 すべて表示 検索	メニュー構造 タ値日本にニッグ」 て順般本が再します よ	
🔊 外観 🔷 🖌	☑ 運営者情報	日本項目で「アリノしし順番で支援しよ 9。)	
テーマ		トップページ	
カスタマイズ			
ウィジェット	<u>すべて選択</u> メニューに追加	911797	
メニュー テーフ編集			
	リンク・	メニュー設定	
▶ フラクイン	カテゴリー 🔹	固定ページを自動追加 📄 このメニュ	
📥 ユーザー		テーマの位置 🗌 メニュー	
🎤 ツール		マニュ 一方街山路全	
■ 設定			

このように設定することで表示させることが出来ます。

※ グローバルメニューに対応しているテンプレートのみ利用可能です。

また、グローバルメニューそのものの設定方法などは、ワードプレスに関す る詳しい解説サイトなども多いので参照されてください。

テーマによっては独自の利用方法がある場合もありますので お使いのテンプレートの説明書なども併せてご確認ください。

もし、グローバルメニューに対応していないテンプレートの場合、固定ページに作成した運営者情報は、そのままではどこにも表示されませんから 以下のように、「ウィジェット」を使って、サイドバーに 固定ページを表示させることで対応することも可能です。

アドセンス運用編改訂版

🖚 ダッシュボード	ウィジェット		
★ 投稿 9) メディア	利用できるウィジェット ウィジェットを有効化するにはサイト	サイドバー	
	ジェットを無効化し設定を削除した	い場合 固定ページ	
■ 固定ページ	AdSense Manager		
	Show your AdSense Manager ads		•
▶ 外観	固定ページ	最近の投稿	•
テーマ カスタマイズ			
ウィジェット			
メニュー	My Page Order	アーカイブ	•
J YIHH	Enhanced Pages widget	見近のうたよ	
		固定ページ	
って2人気ブランドで	<u> 考え</u> 」	<u> サイトマップ</u>	
		◎ 運営者情報	
<u>算!案外簡単です</u>			
すすめは? おしゃれな	<u>カフェも教えて!</u>	Ads by Google	
		▶ <u>男服通販</u>	

ズファッションの着こなし術♪

このように表示させることが出来ます。

もちろん、任意で細かなアレンジを加えることは可能ですが、 サイトのどこかに「運営者情報」ページへの誘導があることが大事ですので それさえ守れば自由にアレンジしてかまいません。

🖕 メンブ 明日

グーグルアカウントを作ろう

それでは、いよいよ審査に申し込みます。 まずは、審査に申し込むために、グーグルのアカウントを作りましょう。

もし、すでにグーグルアカウント(Gmailアドレス)を持っていて、 今回のアドセンス広告申し込みにはそのGmail(グーグルアカウント)を使 う、という場合は、このセクションは割愛してください。

で!ひとつ注意ですが、

グーグルアカウント(Gmailアドレス)は、無料でたくさん作ることが出来 ますが、アドセンス広告アカウントは一人にひとつと決められています。



いくつかグーグルアカウント(Gmailアドレス)を所有している場合や アドセンス広告用に別の新規アカウントを作る場合は注意してください。

では見ていきましょう。

まだ、グーグルアカウントそのものを持っていない場合は、 こちらにアクセスして作成しましょう。

https://accounts.google.com/SignUp? continue=https%3A%2F%2Fwww.google.co.jp%2F&hl=ja

新しい Google アカウントを作成



検索にとどまらない Google アカウント

会話、チャット、共有、スケジュール管理、保 存、整理、コラボレーション、発見、そして創 作。Gmail から Google+や YouTube に至る まで、Google のあらゆるサービスを1つのユ ーザー名とパスワードで使用でき、検索履歴も 保存されます。すべてのデータは常時バックア ップされ、Googleで、いつでも簡単に見つける ことができます。

		@9	mail.com
現在のメール・アドル	フ龙使田する	_	
1 も必須項日です	X-612/119-0		
NJXXXX C9.			
パスワードを作成			
パスワードを再入力	5		
誕生日			
	-		
	月	÷	
年			
年 H4 Du			
年 性別			

名前



1つの Google アカウントで、Gmail、画像など あらゆる所有データにどの端末からもアクセス できます。画像を撮ったりマイクに話したりして 検索できるほか、無料のターンバイターン方式 のナビや画像の自動アップロード機能もご利用 いただけます。さらに、携帯端末で Google ウ ォレットを使ってお買い物を楽しむこともできま す。

この、「ユーザー名を選択」の部分で指定する文字が、 そのままグーグルのメールアドレスになります。

いつでも一緒に

グーグルの運営するサービス(Gmail、youtube、アドセンス広告など)を利用する際に、常に使用するIDともなります。

あとは案内にしたがって入力事項を入力します。 入力欄の最後に、画像認証と規約への同意を求められます。

ロボットによる登録でないことを証明

この確認をスキップします(電話の確認が必要になる場合があります)

8564.82	237
2 つの単語を入力してくださ	.): C ●) E
国/地域 日本	\$
Google の利用規約とブライ します。	バシーポリシーに同意
	次 の ステップ

画像認証を入力し、規約への同意にチェックを入れたら

「次のステップ」をクリックしましょう。

すると、写真の掲載を求められます。

これは、本人確認の証明写真、という意味ではなく、グーグルアカウントす べてで共通するあなたのマークとして使われるものですのでそのまま設置し なくてもかまいませんし、アバターを設置してもかまいません。

こういった画像は後でいつでも差し替えられます。 「次のステップ」をクリックしましょう。 あなたの新しいメール アドレスは common @gmail.com です

Google アカウントを作成していただきありがとうございます。このアカウントを利用して、YouTube チャンネルを登録したり、ビデオハングアウトを無料で楽しんだり、Google マップにお気に入りの場所を保存したりできます。



これでグーグルアカウントが作成できました。 「開始する」をクリックしてください。

Site Kit で広告に申し込もう

Site KitはGoogleが提供するワードプレスプラグインで、 アクセス解析やサイトのデータ分析、Google広告の管理といった Googleが提供するサイト管理サービスを一元管理できるプラグイン。

許可だけ出しておけば、あとは全部やってくれる優れもの。

アドセンス広告だって、申し込みから広告配信まで何もかもおまかせの、 ちょっと過去のアドセンスからは想像できないずるいほどのお手軽さです。

すでにプラグインのインストールは済んでいる上、グーグルアナリティクス の申し込みですでに一部設定済みと思いますが、まだの方は以下の要領で セットアップして下さい。

セットアップがまだの場合

ダッシュボードに表示されたバナーの、ボタンの上にある**チェックボックス** にチェックを入れて「セットアップを開始」をクリックします。



案内に従ってGoogleアカウントにログインします。 次に「こんなことをしますけどいいですか?」的なことを聞いてくるので 「許可」をクリックして下さい。



主に、サイトのデータやサイト所有者であるあなたの情報にGoogleがアクセスしますよ、という意味で、この先もちょくちょく許可を求められますので、その都度許可して下さいね。

まずはログインからの「許可」。 サイトの所有権の確認をします。

でも、こちらで何かをするわけではなく、Googleが勝手にゴニョゴニョやって「はい、確認できました」と言ってくるので「続行」します。



1	サイトの所有権を確認する	••	0	
	 		•	
2	秘密の写真館 に、Google アカウントのデータへのアクセスを許可する。			
3	Search Console を設定する			

また許可を求められます。



言われるがまま、サイトを追加します。 これはSearch Console(サーチコンソール)との連携。

G Site Kit へようこそ。設定を始めましょう

Ø	お客様が次のサイトの所有者であることが確認されました: 秘密	の写真館
ø	秘密の写真館 が Google アカウントのデータにアクセスできるよ	うになりました。
3	Search Console を設定する	
	Search Console に <u>秘密の写真館</u> が追加され、Google 検索でご自身の サイトがどのように検索されているかを確認できるようになります。 サイトを追加 キャンセル	

Google検索の状況をデータ解析してくれるサービスですので、 「サイトを追加」して下さい。

これも勝手にゴニョゴニョやって「設定できました」と言ってきます。

G Site Kit へようこそ。設定を始めましょう

🥑 お客様が次のサイトの所有者であることが確認されました: 秘密の写真館

移密の写真館 が Google アカウントのデータにアクセスできるようになりました。

🥏 秘密の写真館 が Search Console で設定されました。

これで完了です。

ダッシュボードに移動

Site Kit が正常に設定されました。これで、ご自身のサイトが Google 検索 でどのように表示されるか、Google 検索からの訪問者数、サイト内の人 気のあるページ、ユーザーが Google 検索からどのようにしてサイトを見 つけたかを確認できるようになります。



ダッシュボードに移動します。



こんなコーナーができていますので、 アドセンスの「サービスを連携」をクリック。

アドセンスに連携する

本教材のワードプレスプラグインマニュアルに沿って、 すでにグーグルアナリティクスとの連携が済んでいる場合は、 管理画面の「Site Kit」→「設定」と進みます。

 ダッシュボード G Site Kit 	G Site Kit		0 🧕	moririn.mail@gn	nail.com
ダッシュポード Search Console AdSense	設定				
アナリティクス 設定	接続済サービス	ほかのサービスに接続する		管理者設定	
☆ 賢威の設定 ♪ 投稿	🔒 Search Console		Search Cons	ole 违携済み 🛛 🥑	~
/ mm 園 共通コンテンツー 覧	🎣 AdSense		AdSense k	は未連携です 🙆	v
Ⅲ ランディングページ 一覧 ♥■ キャラ一覧	.∎ アナリティクス		アナリティク	マス 連携済み 🕑	v
0					_

図のように「アドセンス」をクリックして、案内に従い連携していきます。 Googleアカウントへのログイン→各種情報への許可を聞かれますので、案内 に従って許可します。

Site Kit を信頼できることを確認 お客様の情報をこのサイトやアプリと あります。アクセス権の確認、削除は Google アカウントでいつでも行えま	共有する場合が k、 す。
Learn how Google helps you <mark>share da</mark>	ta safely.
Site Kit の利用規約とプライバシー ポ ザーのデータがどのように取り扱われ ださい。	<mark>リシー</mark> で、ユー るかをご確認く
キャンセル	許可

50ページ

今回はじめてアドセンスのアカウントを取得する場合は、 いくつか入力事項があると思いますので入力を行って下さい。

入力が終わったら、もしくはすでにアドセンスをお持ちの場合は、 次のようにこのサイトをアドセンスに追加していきます。



アドセンスに追加するサイトのURLを尋ねられます。 確認して「保存して次へ」をクリックします。

まずはウェブサイトです
サイトの URL .com
例: example.com
保存して次へ

ついで、案内に従って審査をリクエストして下さい。



通常は、1日~長くても1週間程度で審査結果が出ると思いますが、 アクセスが極端に少ない場合などはもう少しかかることもあります。

また、審査途中でNG項目があって修正が必要な場合、 案内に従って修正を行って下さい。

1次審査に通らなかったときの対処法

もし、1次審査で何らかのエラーがあり、 審査を通過しなかった場合、メールなどで通知が来ます。

ただし、アドセンス広告チームからのメールは 不達で届かないことも多々あり、注意が必要です。

もしアドセンス広告チームからエラーがあるという警告をうけたり、1週間 以上経ってもアドセンス広告の管理画面にログインできない場合は、ブログ に何らかのエラーがあることが考えられますからエラーを改善しましょう。

グーグルから来る警告には「直せばOK」で済むものと「これ以上審査しません」というお断りの2種類があり、これまで長々書いてきた注意点を守っていれば、ほぼ「直せばOK」の軽微なエラーで切り抜けられます。

もし注意書きを守らずに、NGネタやNGワードを連発していたり、アフィリ エイト臭をプンプンさせて「買え買え!」という記事を書いていたりすれば 「もうあなたにはアカウントをあげませんよ」という 一発レッドカードのお断りメールが来てしまいます。

ちゃんと、守るべき注意点を守っていたにもかかわらず、 警告を受けてしまった(「直せばOK」の警告)場合には 記事のどこかに、まだペナルティの要素が残っているということです。

もう一度、すべての記事を隅々まで見て、 NGワードやNGネタに抵触しかねないものがないか、 つぶさに探して改善しましょう。

アドセンス広告チームから、何らかの警告メールが来た場合、 「1次審査でエラーがありますよ」という通知は来ますが 具体的にどこの何がエラーなのかまでは教えてもらえません。

でも、大まかなヒントが記載されていますので それを頼りに自分で心当たりを修正するしかありません。

警告に多いのは「著作権に抵触するコンテンツ」 「成人向けコンテンツ」「低品質コンテンツ」の3つです。

著作権や成人向けコンテンツの警告は、記事中に、 NGネタやNGワードがあることが原因ですので 該当する記事や語句を取り除いて再審査を請求すればOKです。

低品質コンテンツとは、記事数が足りていないとか、 記事のボリューム(文字数)が少なすぎることが多いですので、 あと数記事、みっちり書いたものを追加していきましょう。

これらは自分に都合よく解釈し「ちょっとくらい大丈夫だろう」と思わず に、丁寧にエラーをつぶしてくださいね。

また、グーグルは警告を受けたことに対して

あなたがどこまで真摯に対応するかも見ています。

ルール違反が見当たらないのに何度も1次審査に引っかかるので、 せっかく書いた記事を半分ごっそり削除して新しく記事を書いたら合格し た、みたいなケースもありました。

もし、まったく心当たりが無いのに警告が来た場合、 上記ケースと同様に、記事のいくつかを削除して新しく書き直すことで 「グーグルからの警告に対し、精一杯対処しています」 というアピールをすることで切り抜けられることが多かったです。

審査が終われば、自動的に広告配信が始まります。

広告を配信する場所、個数、広告サイズなどはすべて、 Google側が自動でコントロールしてくれますので、 広告配信が始まった段階で、審査が無事完了ということになります。

お疲れ様でした。

自己クリックには厳重に注意しよう

審査が終了すれば、いよいよ本格的な広告の運用が始まります。

せっかくアドセンス広告のアカウントを取得したのに、 いきなりペナルティを食らってしまうケースが後を絶ちません。

特に多いのが、自分の広告を自分でクリックする行為。 アドセンス広告では、<mark>例えテストのためであっても、自己クリックは禁止</mark>さ れています。

うっかりミスも許されませんので厳重に注意してください。

また実際の事例で、家族や会社の同僚などに「ブログを作ったんだ~♪この 広告をクリックしたらお金がもらえるんだ~♪」などと見せたあと「クリッ クだけでお金がもらえるなら」と、家族や同僚が良かれと思って勝手にク リックしまくった結果、アカウント凍結になったという事例がすごくたくさ んありました。

ブログを作った、アドセンス広告を貼ったなど、家族や友人などに話をする 場合は、広告をクリックしないでほしいと念を押すようにしてくださいね。

特に、同じパソコンを使う家族同士などでは**子供さんが知らずにクリックしたことでアカウント凍結する事例も多い**です。 くれぐれも、注意してください。

また「みんなで1日1回クリックしあう会」みたいな 相互クリックも非常に厳しいペナルティを受けますので絶対に禁止です。

アドセンスの許可サイトについて

アドセンス広告を掲載したサイトは、 忘れないようにグーグルに対し「許可サイトの申請」を行いましょう。

許可サイトの申請をしないと、正しく報酬が受け取れないことがあります。

許可サイトの申請とは、グーグルアドセンスに対して、 このURLのサイトは私の所有するサイトですよ、と申告することです。

実は、あなたのアドセンス広告の広告タグは、 いとも簡単に、第3者にコピーされてしまう恐れがあります。

別に、報酬を横取りされるわけではないし、他の誰かが私の広告を勝手に宣 伝してくれるならラッキーではないか、と思わなくもないのですが、第3者 が必ずしもあなたの広告を宣伝するとは限らず、

逆に、あなたの広告を勝手にアダルトサイトに貼ったり、広告を流用して不 正クリックを連発するなど、**わざとあなたのアドセンスアカウントをぶち壊** しにするケースもあるのです。

これは、一般的に「アドセンス狩り」と呼ばれています。

あなたがどんなにアドセンスの運用ルールを守っていても、そういう悪意あ る第3者によって不正な運用をされてしまった場合、あれだけ苦労して取得し たアドセンスアカウントを剥奪されてしまうのです。

許可サイトとは、あらかじめ、

「私のサイトはこれです、このURLにアドセンスを貼りますよ」と グーグルアドセンスに申し出ておくことで、

万が一、悪意ある第3者があなたの広告タグを悪用して攻撃を仕掛けたとして も、「そんなサイトは知りません」と言うことができ、 またグーグルアドセンス側も「申請の無いURLだからノーカウント」と あなたのアカウントを守ってくれるのです。

逆にいえば、許可サイト申請をうっかり忘れたままにしてしまうと、 「申請の無いURLから広告の売り上げが上がってますけど、

申請されていないサイトだからあなたの報酬とは認められません」と、 あなた自身のサイトの報酬にも関わらず、認めてもらえなくなるのです。

あなたが正しく報酬を受け取ることができるのは、グーグルアドセンスに許 可サイトとして申請したブログからの売り上げだけです。

申告漏れ、第3者による広告タグの流用など、許可サイト申請されていないサ イトから上がった報酬はあなたのものと認められず、カウントしてもらえま せんので、必ず許可サイトの申請を行いましょう。

では、許可サイトの申請方法を見ていきます。 まずは、グーグルアドセンスの管理画面にログインします。 <u>https://www.google.com/adsense/</u>

ページの一番左上にある、横線のマークをクリックします。



すると、メニューが開きますので「サイト」をクリックしてください。



あなたの広告コードが設置されているサイトがズラズラっと出てきます。

≡ 衫 Google AdSense	サマリー	0
サイト ②		サイトを追加
💼 フィルタまたは検索		
alterial success	準備完了 ①	~
whethered here	未審査 ①	~
manifold 1. Non-cating as	準備完了 ①	~
an miljage Pakiloph anns	準備完了 ①	~
x1-mbjectsparet	準備完了 ①	~
き お問い合わせ	ページあたりの行数 5	

まぁ、普通は自分のサイトだけが出てくるはずなのですが、 先ほど触れた「アドセンス狩り」だとか、人のブログ記事をアドセンスコー ドごと無断転載しているケースなど、勝手にあなたのアドセンスコードを 使っているサイトも一緒に表示されます。 **許可してもいいのは、自分が所有するサイトのみ**です。 自分のサイトがもしもまだ表示されていない場合は 右上の「サイトを追加」をクリックして追加をします。

サイトを管理	
こちらがお客様のすべてのサイトのリストです。リストの 行い、新しいサイトは手動で追加してください。 ヘルプ	る場合はそのサイトの確認作業を
- フィルタまたは検索	
サイト	:
🗸 chokaka sem	~
	✓ 確認済みのサイ ●
 monthedit.integ.au rest.on.jp. 	~
 standbeg fillenigt som 	~

中には、ツールやロボットを使って無断転載したり、

キュレーションサイト(まとめサイト)に無断で使われたりして、 他のユーザーからも苦情を申し立てられるような悪質なケースもあります。

うっかりそんなサイトを許可してトラブルに巻き込まれないように、 絶対に自分以外のサイトは許可しないでください。

また、もしも自分のサイトがこの一覧に表示されていない場合 (アドセンス広告を貼ったのにグーグルに検知してもらえていない場合) 手動でサイトを登録することもできます。 右上にある「サイトを追加」マークをクリックすると、 追加用の窓が開きますので、追加したいURLを記載します。

記載するときには、URLの頭の「https://」と末尾の「/」を外します。 例) https://testsite01.com/ これがURLだとすると、 testsite01.com ← これだけを記載

また、日本語ドメインを利用している場合は、 ピュニコード変換した上で、同様に「https://」と「/」を外して記載します。

● 日本語ドメインのピュニコード変換(このサイトでできます) <u>https://punycode.jp/</u>

例)

https://日本語.com/ これがURLだとすると、 xn--wgv71a119e.com ← これを記載

記載したら、忘れずに保存しておいてください。

アドセンスはいくつ貼ってもいいの?

少し前まで、アドセンス広告は「ディスプレイ広告は1ページあたり3つま で。リンクユニットも3つまで・・・」など、表示させてもいい広告の個数が決 まっていました。

しかも、3つしかダメなのに4つ載せた時には アドセンス側で広告をブロックしてくる徹底ぶり。

月の収益がおおよそ20万円~30万円を超えるような人気サイトになれば、 グーグル側から担当者がつくようになり、 厳しい審査を受けて4つ目のアドセンスが許可されたわけですよ。

何が言いたいかというと、 4つ目の広告を許されるって、すごいことなんです! 勇者ですよ。キングオブアドセンスです。

ところが、2016年8月に、アドセンスが大掛かりなルール改定を行い、 1ページにアドセンスをいくつ設置してもよいことになりました!!!

祝!!アドセンスばんざーーーーい!!!!! (ノ∀`*) アハハハハ やったね貼り放題!今までのはなんだったんだ!

・・・と、当然そういう甘い話ではなく、 実は、この**広告設置数の上限撤廃はとてつもなく恐ろしい地**雷です。

アドセンスは、運用ルールを定めたポリシーの中で 広告の運用についてこういっています。

広告や有料の宣伝用資料は、配信するページのコンテンツよりも多くなってはならないも のとします。また、コンテンツは、ページを訪れるユーザーの関心に合った、価値ある情 報を提供するものでなければなりません。そのため、ユーザーにとって価値がほとんどな いページでの広告配信と広告の過度な表示は、修正が行われるまで制限または無効にされ

61ページ

る場合があります。

(アドセンスポリシーより引用 <u>https://support.google.com/adsense/answer/</u> 1346295?hl=ja&ref_topic=1271508&visit_id=undefined&rd=1#Ad_limit_per_page 2016.11)

これを意地悪く翻訳するとこうなります。

記事が書いてある面積よりも広告の面積のほうが広くなってはダメ 記事の内容に関係のないアフィリリンクを貼ってはダメ 記事の内容が薄かったりつまらないのに広告を貼ってはダメ

ここで特に気をつけたいのが

「つまらない記事にアドセンスを貼ってはダメ」という部分です。

今までの「いくつまでなら貼ってもいいよ」という制限を取り払ったことで、 アドセンスに都合よく言いがかりをつけられるようになったわけです。

アドセンスが「この記事はつまらない」と思えば、 5個も6個もアドセンスを貼っているわけじゃなくても、 例え広告が1個しかなくても、ペナルティを課すことが出来るという話。

本教材アクセス・トラップのように、コピペや著作権違反をしないで それなりの文字数を確保しながら積み上げるサイトなら、 びくびくする必要などまったくありませんが、だからといって 「**アドセンスはいくつ貼ってもいい」ワケじゃない**ので注意しましょう。

基本的にはGoogleに全部おまかせなのでこちらが作業をする必要はありませんが「んー、もっと広告があってもいいかも」と、Googleの意向を無視して 勝手に広告を増やすのは非常に危険。

まずは無難に、旧基準に沿って3つ以下を目安にしたほうがいいでしょう。

報酬受け取り口座の登録をしよう

アドセンス広告の審査が終わったら、

いよいよ本格的に広告運用がスタートです。



ここまで終わっていますから、

あとは、発生した報酬を受け取るための手続きを残すのみです。

それが「テストデポジット」と「PINカード送付」です。 これらはどちらも累計報酬額が1000円を超えた段階で手続きが始まります。

まずは、テストデポジットから見ていきましょう。

テストデポジット(チャレンジデポジットとも言う)とは、 報酬を振り込む口座を確認する手続きのこと。

実際にお金を振り込むことで、口座が本当に実在するものであり、かつ、 あなたの所有する口座に間違いないことを証明します。

審査が終了すれば口座の登録ができるようになりますが、実際にテストデポ ジットが行われるのは累計報酬が1000円を超えてからです。

テストデポジットでは、グーグルから幾らかのお金が振り込まれてきます。

いくら振り込まれてくるかという金額自体がグーグルとあなただけが知る秘 密の情報ですから、振り込みが出来るかどうか、その金額を正しく入力する かどうか、のダブルチェックで口座を確認しているわけですね。 では、まず、銀行口座の登録手続きを見ていきましょう。

まずは、アドセンス広告の管理画面にログインします。 https://www.google.com/adsense/

🗐 💋 Google AdSense	お支払い	Ø	¢
⋒ ^{#−} [⊥]	洗者情報を公開することをおすすめします。[アカ・	ウント設定] ページで、現在の公開設定のステータスをご確認ください。	
 ・ 画 サイト 			
 ・ グロックのコントロール 		W18,852	
	(基本部)の場合に、毎月支払いか打られます		
・ X Tatasit	支払い額は	お支払い基準額: ¥8,000	
 ⑦ アカウント 		お受け取り方法	٦
山 フィードバック	1997 1997 1997	普通43 E705-432	
	ご利用履歴を表示する	お支払い方法の管理	

図のように「お受け取り方法」の「お支払い方法の管理」をクリックします。 下図のような「お支払い方法を追加」という案内をクリック。

▶ お支払い方法を追加	

具体的に銀行口座の詳細を入力する画面に切り替わりますので、

以下の注意点をよく読みながら間違えないように慎重に入力しましょう。

非常に間違えやすくて間違えると直すのが結構めんどうくさいですから くれぐれも注意点をよく守って入力してくださいね。

お支払い方法を追加

銀行口座を追加

日本にある、日本円建ての銀行口座を選択してください。

銀行口座の名義 半角カタカナ	0
アカウントの種類(受取人口座種目) 60 装	
銀行コード(銀行コード)	G
半角数字	
支店コード(支店コード)	
半角数字	
口座番号(受取人口座番号)	
半角数字	
キャッシュカード	

まずは銀行口座の名義ですが、

口座名義人は半角カタカナで入力しないとテストに失敗します。

特に、姓と名の間に半角スペースを入れるのを うっかり全角にするとテストに失敗するので要注意です。

口座名義人は、アドセンス広告に申し込んだときに記載した あなたの本名以外は受け付けません。

例えば、結婚後に苗字を変更せず、旧姓のままにしている口座などは 使えませんので十分注意してください。

もちろん、他人名義の口座もテストに失敗します。

65ページ

アドセンス広告申し込みは自分の氏名なのに、 口座の登録は配偶者の口座、などは認められません。

アドセンス広告審査に申し込んだ際の氏名と完全一致すること、 また、**口座名義人の入力は間のスペースまで全て半角**であること、 これを守らないとテストに失敗しますので注意してください。

- ヤマダ ハナコ (全て半角になっている)
- × ヤマダ ハナコ (姓名間のスペースが全角)
- × ヤマダ ハナコ (全角で書いている)
- × 山田 花子(漢字で書いている)

次いで、銀行口座の種類を選びます。 「普通」「当座」など、選べるようになっています。

この後、銀行名、支店名を入力しますが、 すべて、**指定された銀行コード、支店コードで入力**します。

銀行名や支店名を直接入力するのではなく、 対応する数字を半角で入力するので十分に注意してください。

対応する銀行コードはこちらのサイトで調べてください。 http://zengin.ajtw.net/_

例) みずほ銀行 → 0001
 浅草支店 → 618

口座番号まで入力したら「保存」をクリックして保存します。

もし、うっかり全角で入力したなど、明らかにミスが分かっている場合は、 例えグーグルから振込を受けたとしても金額を入力せず、 口座情報を削除してもう一度登録します。 利用可能なお支払い方法

	銀行口四
ΠΠ	111.14

银行口座 斗 (メイン)

削除

これは、もし、振込金額を4回入力ミスすれば アカウント自体が停止されてしまうからです。

振り込み金額を入力さえしなければ、4回のチャンスを使わずに済みますか ら、怪しいと思ったらいったんストップし、テストをやり直しましょう。

口座の登録自体は何回やり直してもかまいませんが、 金額の入力は4回までとチャンスに限りがあります。

テストデポジットは、すでに1000円以上報酬がある場合、 口座の登録から5日以内に振込があります。 もし、口座登録をやり直す場合、5日以上空けて再登録してください。

また、ひょっとすると、一度登録してしまった口座は例えミスが分かってい ても、修正できない、削除も出来ないことがあります。

その際には、いったん他の銀行口座を登録して、 口座Aと口座Bがある状態にしておき、Aを削除して再登録→Bを削除、 という手順を踏む必要がある場合があります。

どちらにせよ、口座情報を間違いなく入力できたか自信がない状態で 振り込まれてきた金額を入力するのは避けてください。

口座にお金が振り込まれると、その金額をアドセンス広告管理画面に入力します。

Google AdSense				サイト運営者 ID: pub
ホーム 広告の設定 リ	広告の許可とプロック	パフォーマンスレポート		
サマリー メッセージ	お支払い設定			
お支払い あ支払い履歴 あ支払い受取人情報 あ支払い設定 アカウント設定	岐定内容 お支: 利助	払いスケジュール ② お支払い方法 ⑦ 用可能なお支払い方法	毎月〈基準語: ¥10,000〉 設定 銀行口座43(保留) + 新しい銀行口度を追加	
ヘルプ情報	この銀行 (加) 銀行 テスト デオ	1回は確認されていません。 行口座43 (選択済み ジットの確認	*(確認待ち)) 前隊	

ちょっと画像が古いんですが、このようにどこかに小さく「テストデポジットの確認」という表示が出ますのでクリックします。

小さな窓が開いて金額入力欄が出てきますので入力してください。

デポジットの確認
ー デポジットを確認して、お客様の銀行口座の確認を行なってください。
デポジット額を入力: ¥ 65
Googleよりお客様の銀行口座に少額のデポジットを入金いたしました。10日以内に銀行口座の明細に表示されます。口座をご確認いただき、その金額をこちらにご入力ください。
送信 キャンセル
表示: クラシック 低帯域幅
© 2013 Google - 利用規約

これも画像が古いのですが、

この時には65円振り込まれてきたので65と入力しました。 この金額自体が合っているかどうかで口座の本人確認を行います。

一点、気をつけないといけませんが、 時々、特に口座情報をやり直したわけではないのに、 2回も3回も、グーグルから振込を受ける場合があります。 その時には、最後に振り込まれた金額だけを入力し、 1回目や2回目などの金額は無視してください。

実際に報酬が振り込まれるのは、累計報酬が8000円を超えてからです。 まずはそこまでがんばりましょう!

PINカードについて知っておこう

アドセンス手続きの最後は、あなたが実在の人物であることの証明です。

グーグルから、PINカード(ピンカード)と呼ばれる ハガキ状の郵便物があなた宛に届きます。

このPINカードがあなたに正しく届き、 そこに記載されたPINコードという数字を入力することで 本人確認手続きをするわけです。

このPINカードは、ペラペラの紙を2つ折にしてシールで止めただけという 極めてシンプルな作りをしており、見た目はチラシのようですから うっかり捨ててしまわないように注意が必要です。 同居するご家族にも注意を促しておきましょう。



また、PINカードが送付されて、4ヶ月以内に確認コードを入力しないと、 サイト上のアドセンス広告の配信を止められてしまいます。

それでも放置し、6ヶ月以上、確認コードを入力しないまま放置すると、 グーグルアカウント自体が無効にされてしまいますので注意してください。

アドセンス運用編改訂版



このように、PINと呼ばれる個人識別情報が書かれていますので カードが届いたら速やかに入力しておきましょう。

.

終わりに

ここまで、アドセンス広告のアカウント開設に伴う 事務手続きを中心に解説してきました。

まずは、ここまでお疲れ様でした。 そして、無事にアドセンス広告審査突破、おめでとうございます!!

ここまで苦労して取得したアカウントですから 大事に守り抜き、資産を築いていきましょう。

これから、引き続き、「アドセンス広告マニュアル2(運用編)」に移行して、 いよいよアドセンス広告の本格運用を行っていきます。

引き続き、1日も早く報酬が振り込まれる日が来るように がんばっていきましょう!